

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	児童通所支援事業所すだち			
○保護者評価実施期間	令和6年12月16日		～ 令和7年1月7日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	10
○従業員評価実施期間	令和6年12月16日		～ 令和6年12月30日	
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達に心配や不安のあるお子さま、障がいのあるお子さまと幅広く受け入れを行っています。	お子さま一人一人に合わせた支援内容を提供しています。体験や経験を通して障がいの種別なく関わりを持てる心の豊かさを学ぶことが出来ます。	今後も幅広く受け入れをします。一人ひとりの強みや個性を生かし、人とのつながりを大切にしながら社会性を育くんでいけるよう支援をまいります。
2	多機能型（児童発達支援・放課後等デイサービス）を生かし、ライフステージの変化の際に、少ない変化でスムーズな受け入れ態勢を整えることができます。	放課後等デイサービスへの移行がスムーズに行えるよう、継続した利用の受け入れを行っています。（年度の空き状況によっては難しい場合があります。）	法人の系列に、就労支援事業所や、グループホーム、入所施設、生活介護等がある為、次のステップへの情報提供等行っていきたいと思っています。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎範囲が限られている。	朝や帰りの自宅送迎のご希望が多くあります。車両が施設全体で共有していることや、必要な支援時間の確保が難しくなるため、対応が難しいです。	近場の保育所・幼稚園への送迎には対応しています。ご相談いただければ、送迎可能かどうか検討いたします。
2	地域のお子さんとの関わりが少ない。	ボランティアの受け入れや、併設施設のこども園の児童、戸外活動時公園などで地域のお子さんと触れ合う機会を、感染症防止の対策等を考えながら実施する必要があります。	ボランティア受け入れや併設のこども園の児童を中心に増やしてまいります。
3			